

ゴミ拾いとマチのデザイン

- 主催：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
- 協力：川崎市環境総合研究所/一般社団法人カワサキノサキ/株式会社ピリカ/NPO 法人グリーンバード 川崎駅チーム/ON THE MARKS KAWASAKI
- 日時：2015年2月13日（土） 11:45～15:00
- 参加費：無料（先着30名ランチ付き）
- 場所：ホテル ON THE MARKS KAWASAKI（川崎市川崎区小川町17-1）

■概要

川崎市は公害問題を乗り越え、環境に対する取り組みで国内外をリードする「環境都市かわさき」として生まれ変わった歴史を持っています。しかし、少子高齢化が進み一人暮らし世帯の増加が予想される今後は、環境にまつわる地域社会の課題を解いていくために必要な、地域の人びとのつながりが弱まり、その結果、ふたたび身の回りの環境が悪化していくことも考えられます。

国際大学グローバル・コミュニケーション・センターは、昨年度から、さまざまな素材を用いて地域の人びとが「かわさきの環境」についてコミュニケーションを行うことについて研究活動を行ってきました。今年度は、市民にとって身近な環境問題の1つである「路上ゴミ」を題材に、ワークショップや調査などを行っています。

今回のワークショップは、川崎市に住む人や働く人、川崎市で環境問題に取り組むNPOや市民団体、地域のお店など様々な方々にお集まりいただき、「ゴミ拾いと川崎のマチのデザイン」について話し合いたいと考えています。また、話し合う際の素材として、川崎駅周辺、新百合ヶ丘駅周辺、鷺沼駅周辺で行った路上ゴミ調査の成果もご紹介します。

■プログラム

1. 11:45～11:55：シンポジウム開催のご挨拶（国際大学 GLOCOM 庄司昌彦）
2. 11:55～13:00：ランチタイム
（12:45 からゴミ拾いとマチのデザインについて自由にアピールできる時間を設けます）
3. 13:00～13:10：これまでのワークショップの報告（国際大学 GLOCOM 菊地映輝）
4. 13:10～13:45：路上ゴミ調査と結果データの紹介（株式会社ピリカ 小嶋不二夫）
5. 13:45～14:45：ワールドカフェ
6. 14:45～14:55：総括コメント（NPO 法人グリーンバード 川崎駅チーム田村 寛之）
7. 14:55～15:00：チェックアウト（参加者全員が一言ずつ発言）

※本ワークショップは、川崎市環境総合研究所との産学公民連携共同研究事業の一環です。